



エルフに

淫紋

を付ける本

LEVEL:8

▶R-18

エルフに淫紋を付ける本 キャラクター紹介



主人公：魔術師

エルフの隠れ里に“宝玉”を盗みに入った男。
宝玉の力で触手などの淫術を使用する。

隠れ里の族長と契約を交わし、
里のエルフに種を付ける務めを果たしている。
その見返りに、
シルファを借り受け、宝玉を探す手伝いをさせている
(勝手に)

謎に包まれているが、本人の戦闘能力はほばないらしい。



ヒロイン：シルファ

魔術師に犯され淫紋調教されたエルフの森の守り手。
真面目でちょっと脳筋などところがある美しいエルフ。

戦闘能力は高く弓の名手だが、うっかりしていて
よくエロい罠にかかっている。
実は快樂に弱く、すぐ我を忘れて溺れてしまうところがある。
だが本人は至って本気で、快樂を得ても決して心は許さず、
誇りを捨てていないと思っている。

魔術師のことが気になってしまうが、本人は決して認めない。



族長
シエラディーナ

エルフの隠れ里の族長。
昔は高名な魔法使いとして名を馳せた冒険者
だったらしい。
冷酷なところがあるが
男に飢えていてドM。



町エルフ
ミスティ

過去、森から町に移り住んだ
エルフ族の末裔。
錬金術の研究をしつつ、
代々継いだ店を経営している。

常識人なので、魔術師や森の
エルフの考えにはついて
いけないところがある。

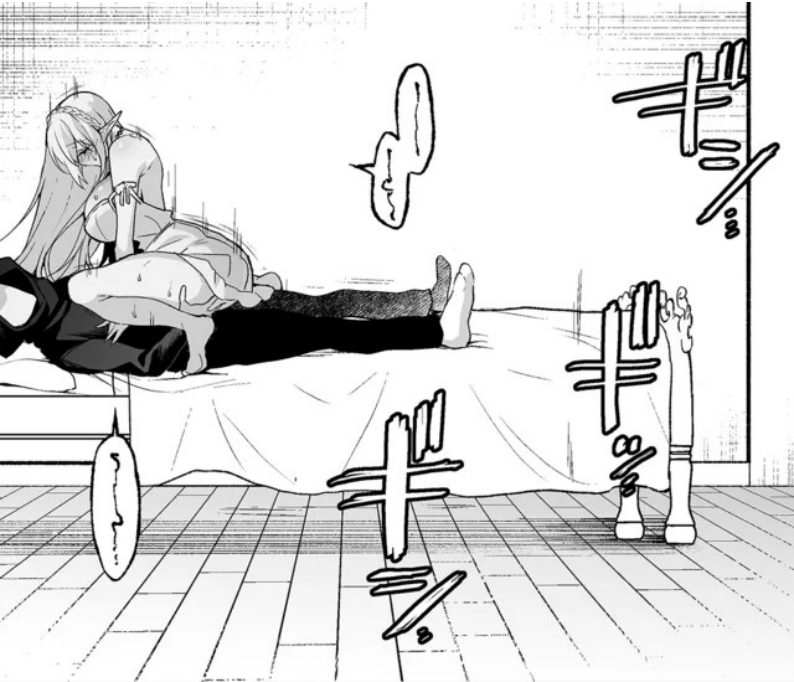


サーシャ
聖なる泉の巫女

エルフの隠れ里の
聖なる泉を管理する
たおやかな巫女。
潤沢な真素を含む泉を
利用し、温泉地として
観光客向けに
営業している。

あらすじ

エルフの里を襲い、淫紋を刻んだ謎の魔術師。
里のエルフたちは男の淫紋の力に落ち、
弓の名手シルファは族長から
『男と共に新たな宝玉を探すように』と伝えられる。
町エルフ・ミスティを淫紋で陥落し、新たな宝玉を
手中に収めた魔術師は、里に触手を巣食わせており、
族長は村おこしとして観光客向けに里を拓いていく。
変わりゆくエルフの隠れ里の行方は……？





この男……

里の子たちと、
毎日いっぱいしてる
くせに……



く……っ
悔しいけど

この男のおちんぽ
やっぱりすごい
……っ♡



どうしてこんなに
元気なの……





!!



そのケツの振り方
まるでケモノの求愛行動だぞ



私は誇り高き
エルフの森の
守り手なのよ…

おちゅ♡

あなたみたいなの…
大勢の女の子と
やりまくりの好色男に
そんなことしないわ…っ

おちゅ♡

おちゅ♡

おちゅ♡

おちゅ♡



なんだ、
勘ねてるのか?

なっ…
違うわよ!

そうか、可愛いところも
あると思ったのにな



……こんなの

ただ、
淫紋のせいで、
こうなってる
だけよ…っ



ふん。
素直じゃないな

それなら...

あ...!?

お望み通り、
淫紋の効果
強くしてやろう

ニヤ!



だっ...女...
イクッ...♡

そんなにきなり
強いのっ...♡



はっ...はっ...はっ...♡



はっ...はっ...♡

キュン...♡



はっ...♡

キュン...



はっ...はっ...♡

はっ...♡

はっ...♡





お前はホントに
ダメな奴隷だな
まだイク許可
出してないだろ！

おおおんっ……！！？♡♡♡

おんっ……♡

おんっ……♡

おんっ……♡

おんっ……♡

おんっ……♡

おんっ……♡

おんっ……♡

びくっ……♡

おんっ……♡

びくっ……♡

びくっ……♡

おんっ……♡

びくっ……♡

おんっ……♡





びしょ

びしょ

びしょびしょ

びしょ

びしょ

ああ...

は...

びしょ

びしょ

は... は...

ああ...ふああ...あ...♡

びしょ

びしょ

びしょ

は...

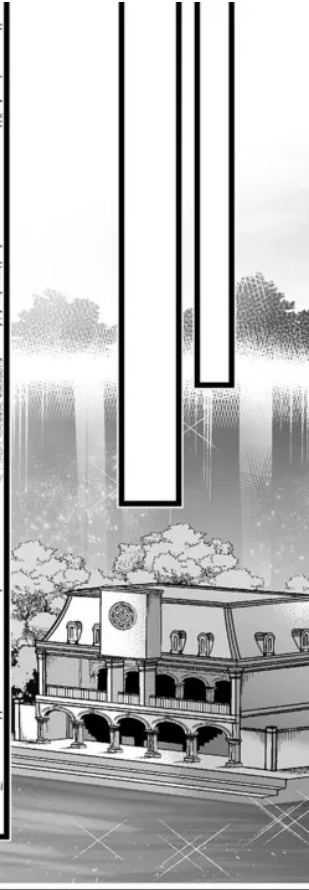
びしょ

びしょ



ではあの町のエルフは、
お主以外もう残って
おらぬのだな…

なるほど…



確かにあの町で
お前以外にエルフの姿は
見かけなかったな。

ええ…近年は
エルフの特徴を
残す者も
ほとんどいません



ええ…私が
あの町の
最後のひとり。

祖母の頃には既に、
他のエルフたちは
人間に交ざり
生きていたそうです



そうか…
無念じゃがそれもまた
彼らの選んだ道か

さて――

改めて、
ミステイよ。

正式に
我がエルフの隠れ里で
ともに暮らすつもりは
ないか？

…私には一族で
代々受け継いできた
店があります

町を出るつもりは
なかったのですが
……

この男の
変な術のせいで、
選択の余地は
ないのでしょ
う？

すまじい
定期的に
アレするしか
ないのか……

長居する気は
ありません

解呪できれば
すぐ町に
戻りますからね

仕方ありません
から、しばらくは
ここに居ますが――

……
なんでもかっ
ていい
(ミヤ)

ミヤ
ミヤ
(小)

ふん

▶ ミスティがなかまになった！



司書のソニカに
紹介してあげる

あら、面倒
かけますわね



よからう、
ではシルファ。

古代エルフの
書物図書館が
あるわ



滞在中、この術の
解呪法を探るのに
どこか研究のできる
場所を貸して下さる？

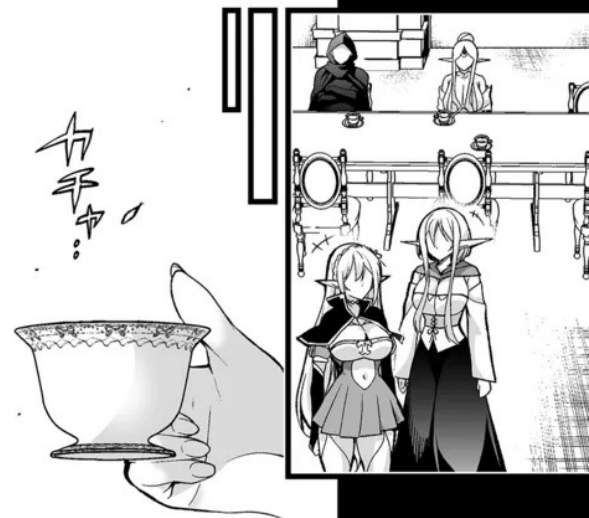
この宝玉についても、
分かることがあるかも
しれませんし…

…



…なるほどのう、
ブラフであの娘を
丸め込んだわけか。

ズズ



カチヤ



ま、それは
よからう。

カチヤ



まあな
約束通り連れてきた。
後はお前次第だ。

くくく…

にしても
悪い男じゃ

抜かせ
人のこと
言えんだろ



さて 我らが
密約はこれより
正式となった

これより、
妾の計画も
次の段階へ移る

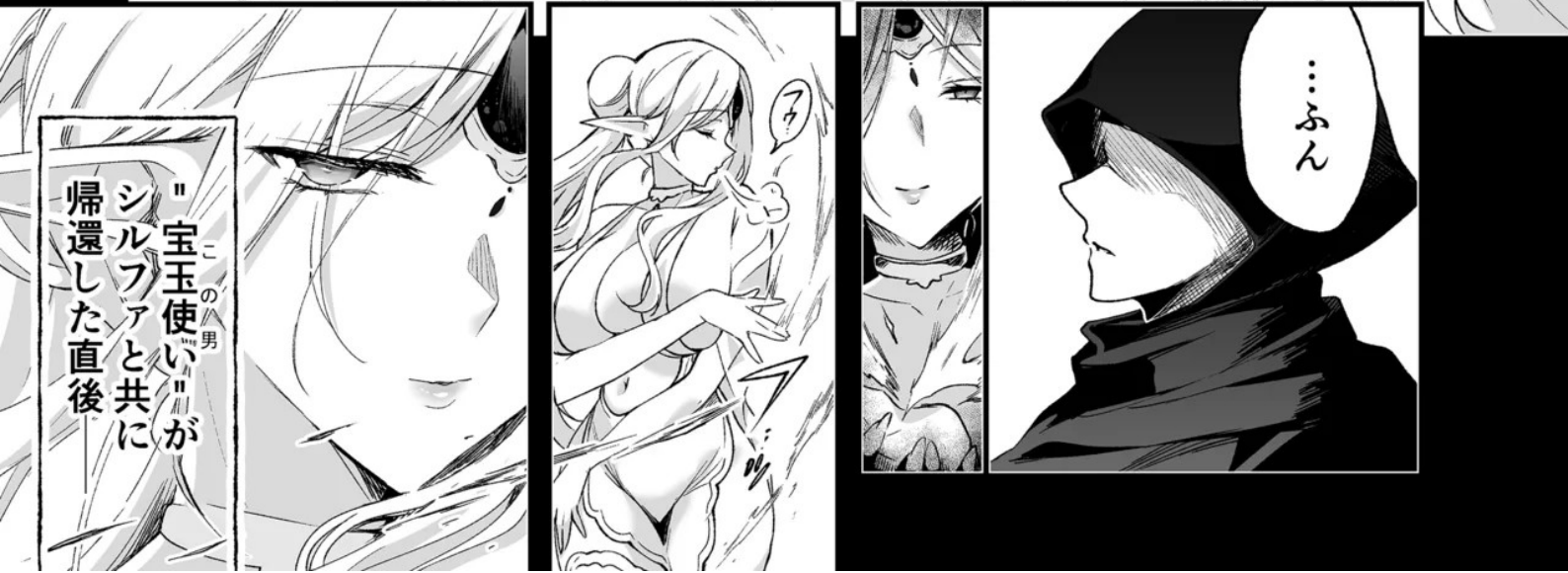


お主の命は
妾の掌の上…

このこと
ゆめゆめ忘れるでない

淫紋の力とて、
妾がその気になれば

造作もないの
じゃからな…？



…ふん

この男
「宝玉使い」が
シルファと共に
帰還した直後



だが――

幽閉するだけでは
済まぬ存在だと、
妾はすぐに理解した



こ奴をとらえた妾は
牢に幽閉した



▲過去回想
(Level:3参照)



お主の能力には
利用価値がある。

妾の目的に必要な
駒となろう

だが同時に、
妾はこ奴と
密約を交わした



表向きには里の娘たちに
子種をつけるための契約



宝玉を探しつつ、
見つけたエルフを
村に連れてくる。

かわりに俺は
好き勝手に
エルフを抱いていい。

……雑な
条件提示だ

それもお主の
望みである？

——エルフは
半神ともいえる
神聖なる種族。

それでも人の子が
台頭する時代に、

このままでは
生き抜くことは
できぬ。

少子化、
貧富の格差……

その根底にある
大地の精気の
枯渇

さらに悪いことに
先の大戦で
若きエルフ男の
大半も失われた

——そこに
お主じゃ

お主の淫紋は
我らエルフと
魔力のリンクを結び、

体内に眠る
エネルギーを
再循環させる。

いま我らは再び、
神聖なる力を
呼び覚ましつつある

子を孕むように
なったのも、
そういう事

故あってエルフは
分断の憂き目にあい、

長らく便りも
交わしておらぬ
……

妾の願いは

散り散りになった
エルフたちの力を
ひとところ結集し……

子を産ませ……

純粹なる
エルフ族の血脈を
再興すること

そのためには
多少強引な手を
使うことも辞さぬ

ギュ……

俺が各地で
宝玉を集め

各地のエルフを
探し出し、
この力で手中に
収める――

そう
だったな？

うむ……宝玉は過去
エルフの長の
所有物じゃった

宝玉のある所に
エルフがいる、と
いうわけじゃ

例外もある
じやろうが

――先のミステイは
友好的だったが、
一筋縄ではいかぬ者も
おるじやろう

かつての栄光を
忘れられぬ者たちや、

我らと敵対し
害をなそうとする
勢力も……

近年、外界からの力が
強くなっておるのを
感じておる……

この里も今までは
隠れおおせたが
このままでは
ジリ貧じゃ……

……

……そんな難しい話は
知らん。

俺は宝玉の力で、
おまえたちエルフを
抱ければそれでいい

はあ

ずいぶんと
屈折したもの
じゃな……

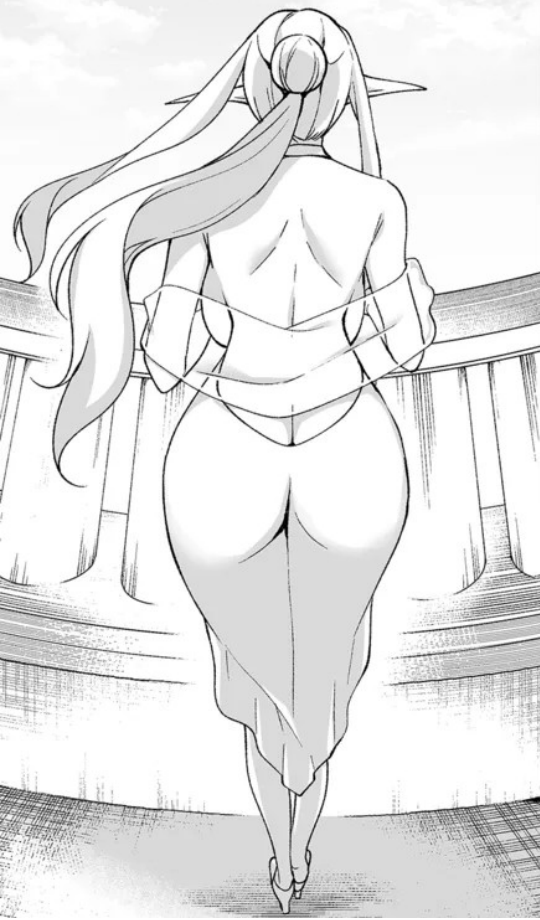
とはいえ、
エルフ族の未来を
背負うのは妾の使命。

お主はこれまで通り
淫紋の力を使い、
好きに振舞うがいい。

言われ
なごも



——いずれ我らの
長い命が尽きるとき、
我らの血は絶える
はずであった



だが妾は
お主の存在に
光明を見た

第2章

お主ならばきっと
妾の望みを
叶えてくれるだろう

……契約を
果たすために

お主はもっと
強くならなければ
ならぬ

そのため
にも……

エルフに

淫紋

を付ける本

この世界のすべての
エルフ族にとって、
お主の存在は
鍵となるであろう

お主の種に
我々の未来が
託された



交わりにより、
お主の体内を
エネルギーで満たし

お主の魔力のレベルの
上限を開放する…

お主の能力は
今のこの里に満ちる
エネルギーで
更に高められよう。







パーティーの仲間にも
同情するぞ

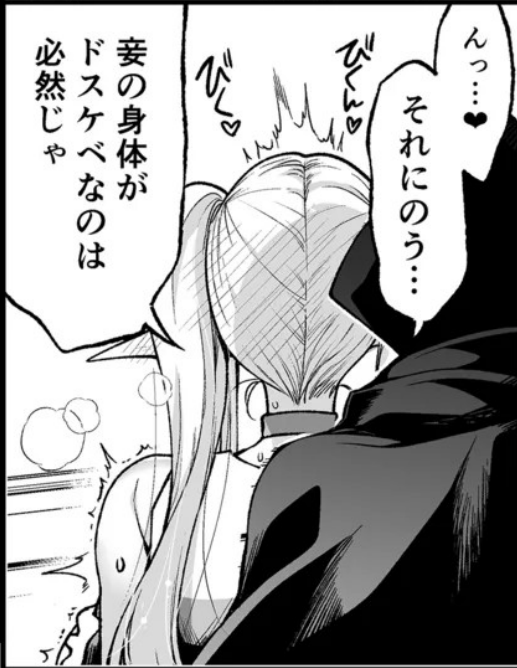
目のやり場に
さぞ困ったろう

こんな凶悪な体に
ほとんど裸で
公共の場に出て
恥ずかしく
なかったのか？



年増の
フェロモン
まき散らして

昔、有名な
冒険者だったとか
いうが――



妾の身体が
ドスケベなのは
必然じゃ

んっ…
それにのう…



し、仕方
あるまい…

肌が出るほうが
魔力の効率が
いいんじや…

だか思い返すと
確かに皆、
目が合わなかった
ような気も…



もう幾年月…
オスを待ち
熟成させ切った

繁殖のための
ワガママボディー
だからの…♡

妾は今が春…
メスの真っ盛りじゃ♡

お主の手で、女の幸せ
感じさせておくれ♡



んん…♡
そなたの硬い
チンポ…♡

ぬちゅ♡



あま…♡
妾の中に
挿入ろうと
攻めてくるう♡



そんな簡単に侵入を
許すものか…♡

ええい♡
反撃じゃ♡

くらえ♡

ぐうっ…

勝手に腰振って
擦り付けてくる
…
何が攻めてくるうだ…

く…ッ
あくまでも
ペースを
握られる…っ

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡



ああ...♡じらさないで...
おマンコいじってえ...



荒々しい指使い
イイ…っ♡

あああッ…♡

んおっ…おおおっ…
イク…じ…おおお…っ

あ
い
く
っ
♡

じゅっ
じゅっ
じゅっ

じゅっ
じゅっ

じゅっ
じゅっ
じゅっ

っ
っ
っ
っ
っ
っ

っ
っ
っ
っ
っ
っ

っ
っ
っ
っ
っ
っ

っ
っ
っ
っ
っ
っ

っ
っ
っ
っ
っ
っ



そうじゃ…♡
もっといじめてえ…♡

卑しいマンコだ
自分からヒクついて
飲み込んで…



いいぞ
それじゃあ…
ん？



もう我慢できぬ♡





それにこの
肉厚なマンコの
締め具合...

なんて
凶悪な
乳だっ...



まるで
食虫植物だ...

浅ましく
全てを吸いつくそうと
膣内が蠢いてる...ッ!

みずっ
みずっ

天



食われる…っ!!



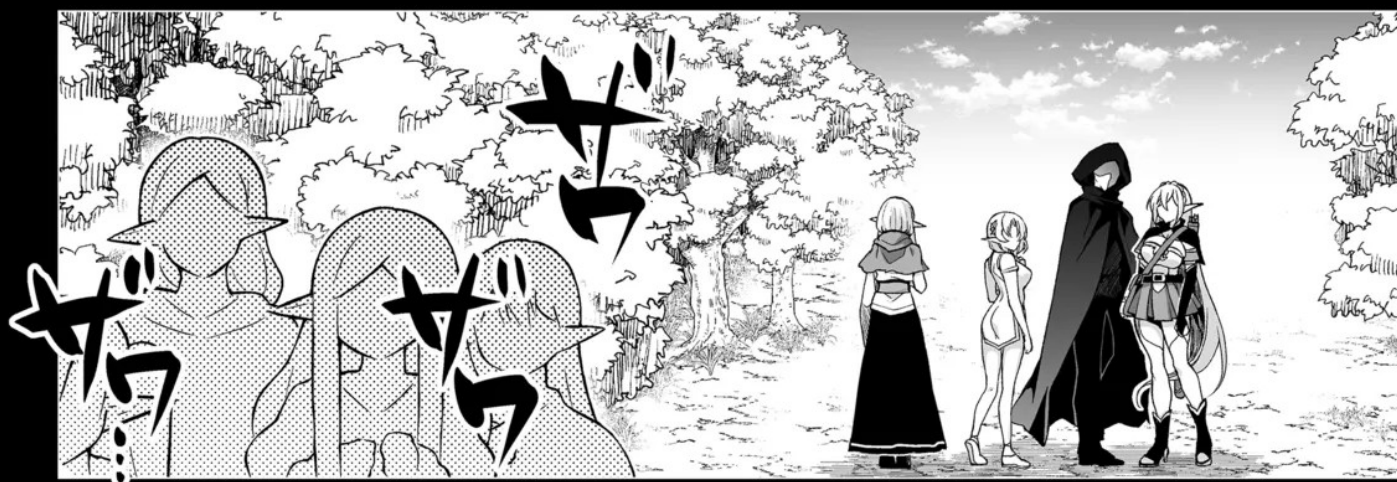
フフ♥
威勢の良い
精子じゃ♥













騒ぎの元は
あちらのよう
ですね

.....?

ザワ

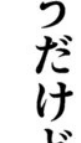
ザワ

ザワ



誰かしら?

里のエルフでは
ないようだけど



我らエルフの
最古の森が
このような辱めを
受けているとは――

ここまで愚かだとは思
いませんでしたよ。
シエラディーナ。

…嘆かわしい



お主は……

……

To Be Continued...